

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和元年度 第2回 大分県男女共同参画審議会

2 開催日時

令和2年1月9日（木） 13時30分から15時30分まで

3 開催場所

大分県消費生活・男女共同参画プラザ 2階 大会議室

4 出席者

青山龍志 委員、阿部貴史 委員、衛藤賢美 委員、笠原クニ子 委員、貞永明美 委員、塩月裕市委員、篠原丈司 委員、首藤康 委員、詫摩賢治 委員、外山恵美子 委員、西田和子 委員、松浦恵子 委員、松木和美 委員、森誠一 委員、山崎清男 委員、吉本寛子 委員、鷺頭洋子 委員

以上17名（五十音順、敬称略）

<事務局>

宮迫生活環境部長、（県民生活・男女共同参画課）石松課長、後藤課長補佐（総括）、三重野主幹、片山副主幹、石田主任、吉野主事

以上7名

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者

1名

7 議事及び結果

（1）第4次おおいた男女共同参画プランの実施状況について

事務局から、第4次おおいた男女共同参画プランの平成30年度の実施状況を説明した。当該プランの指標に対する達成度と実施状況の分析結果を報告した。

（2）第4次大分県 DV 対策基本計画の実施状況について

事務局から、第4次大分県 DV 対策基本計画の実施状況について、基本目標に対する平成30年度の実施状況を報告し、今後の取り組み予定について説明した。また、国の第5次男女共同参画基本計画の策定について、今後のスケジュールや方針を確認した。

（3）女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築について

事務局から、大分県の長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」の中間見直しにおける改訂素案の内容について報告した。また、「女性の活躍」をめぐる現状と課題についての分析結果を説明し、課題に応じたより具体的取り組みを推進する「女性活躍アクションプラン」の策定計画について説明した。

<主な意見>

- 男女共同参画の意識、少しずつ変わってきていると感じる一方で、社会全体の意識改革の難しさを感じている。長い道のりが必要なので、事業の継続が重要だと考える。民間企業同様、県などの行政でも男性の育児休業取得率を上げるように頑張してほしい。
- DV（ドメスティック・バイオレンス）は、家庭の中で再生産されるという問題がある。被害者だけでなく加害者への対応も両輪で、今後とも取り組んでほしい。
- 暴力を容認しない意識づくり、人権について、子ども達の世代からの教育が重要である。若い世代が地域社会の偏った意識を引き継いでしまっていると感じることもある。地域差が出ないような形の予防教育、ジェンダーイクオリティ教育による意識づくりにより、社会全体の意識の変革をしていくことが重要である。
- 第5次男女共同参画プラン等を策定する上で、男性の子育てにプラスして男性の介護等への参画も検討課題や施策へ反映していくとよいのではないかと。
- 「女性活躍アクションプラン」の策定について、部局を超えて県庁が一丸となって取り組むという積極的な姿勢に、これから良い方向に進むのではという希望を見ている。是非頑張してほしい。

8 会議の資料名一覧

- 資料 1 第4次おおいた男女共同参画プラン（H28～R2）の概要
- 資料 2 第4次大分県 DV 対策基本計画について
- 資料3-1 第5次男女共同参画基本計画の策定について
- 資料3-2 女性活躍加速のための重点方針 2019
- 資料3-3 「第5次おおいた男女共同参画プラン」策定スケジュール
- 資料4-1 大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン 2015」（改訂素案）
- 資料4-2 女性の活躍をめぐる課題と R2 年度女性活躍推進施策について

9 問い合わせ先

- 担当課 県民生活・男女共同参画課 参画推進班
- 電話番号 097-534-2039